

事前配布

第 31 回
全板連・日板協青年部あすなる研究会
in 香川
開催要綱

「今日から輝け！ 自信と誇り」

未来のための今・・・真のリーダーシップとは？

平成 23 年 9 月 17 日（土）／18 日（日）

香川県高松市

「高松国際ホテル」

全日本板金工業組合連合会

社団法人日本建築板金協会

青年部

第 31 回全板連・日板協青年部あすなろ研究会 in 香川

－ 開 催 要 綱 －

目次

1. 目的	3
2. 開催日時	3
3. 会場	3
4. 参加対象	3
5. 主催及び設営並びに協力	3
6. 研究会の概要（当日のスケジュール）	3
7. 参加申し込みの方法等	3
8. 参加費の振り込みについて他	4
9. お問い合わせ先	4
10. 予定表	5
11. 講師プロフィール	7
12. 参加者の心得	9

第31回全板連・日板協青年部あすなろ研究会 in 香川

－ 開催要綱 －

全日本板金工業組合連合会青年部

社団法人日本建築板金協会青年部

1. 目的

本事業は、全板連・日板協活動における目的のひとつである、組合員相互の経営安定化の実現と、魅力ある業界づくりを目指すもので、青年部員として、同じ価値観を持つ仲間がこの世界不況の下、今こそ横の組織力強化に努め、生き残りをかけた戦いに立ち向かい、勝ち抜く強さを身につけるべく、確固たる社会地位の獲得と次世代への継承について学び、語り合うことを目的とします。

2. 開催日時

平成23年9月17日（土）14時から（受付：13時20分～13時50分）

平成23年9月18日（日）12時30分まで

3. 会場

〒760-0800 香川県高松市木太町2191-1

「高松国際ホテル」 TEL:087-831-1511 FAX:087-861-0293

<http://tkh.anabuki-enter.jp/>

4. 参加対象

- ◇ 各組合の組合員及び青年部員
- ◇ 組合員及び青年部員の配偶者及び従業員

5. 主催及び設営並びに協力

- ◇ 主 催：全日本板金工業組合連合会・社団法人日本建築板金協会 青年部
- ◇ 設 営：香川県板金工業組合 青年部 四国板金工業組合協議会 青年部
- ◇ 協 力：全日本板金工業組合連合会・社団法人日本建築板金協会
四国板金工業組合協議会

6. 研究会の概要（当日のスケジュール）

※5～6 ページをご参照ください

7. 参加申し込みの方法等

1) 別添の『参加申込書』に必要事項をご記入のうえ、全板連事務局宛にお申し込みください。

FAX 03-3456-2781

2) 参加申し込みの期限は以下のとおりです。

参加申込期限 8月19日(金)17時

8. 参加費の振り込みについて他

1) 参加費はお一人様【24,000円】(1泊2食付)で、8月19日(金)までに下記の口座にお振り込み願います。

<注>2食:9月17日(土)の夕食(懇親会)と18日(日)の朝食

2) 振込み手数料はご負担ください。

3) 8月19日(金)17時以降の参加取り消しについては、参加費の全額をご負担いただくこととなりますので、予めご了承願います。

銀行・支店名	りそな銀行 麻布支店
口座番号	(普) 1691886
口座名	全日本板金工業組合連合会

ご注意ください!

※口座番号・口座名義が変更されました。

4) 駐車場のご利用については、ホテルにお問い合わせください。

9. お問い合わせ先

全板連・日板協青年部担当: 小林・山口

TEL: 03-3453-7698

FAX: 03-3456-2781

e-mail: zenban@sage.ocn.ne.jp

10. 予定表

第1日目【9月17日(土)】会場：瀬戸の間

※スケジュールや内容等に変更が生じることもあります。

時間	次第・テーマ	担当者等
13:20 (30分) 13:50	受付	全板連青年部役員 香川県板青年部員
14:00 (40分) 14:40	<p>【開会式】</p> <p>開会の辞 部長挨拶 来賓紹介 来賓挨拶</p> <p>I. 全板連理事長 II. 開催地ブロック会長</p> <p>III. 開催地組合理事長</p> <p>オリエンテーション</p>	<p>司会：村田 豊 幹事</p> <p>笠松秀伸 幹事 熊谷義秀 部長 山田真一 副部長</p> <p>石本惣治 全板連理事長 日浦 勉 四国板金工業組合協議会会長 全板連青年部担当副理事長</p> <p>池田 勝 香川県板金工業組合理事長</p> <p>山田真一 副部長</p>
20分	— 展示会場見学・講演準備 —	
15:00 (120分) 17:00	<p>講演</p> <p>『リーダーの条件』 ～次世代の指導者たちへ～ (仮題)</p>	<p>進行：古市竜也 副部長 講師：山本昌邦 様 サッカー解説者 2004年アテネ五輪サッカー日本代表監督</p> <p>※途中休憩あり</p>
17:00 (60分) 18:00	グループディスカッション	進行：古市竜也 副部長
60分	— 展示会場・チェックインなど —	
19:00 (120分) 21:00	絆（懇親会）	<p>進行：氏家正紀 幹事 香川県板金工業組合青年部</p>

11. 講師プロフィール

(順不同)

山本昌邦 (やまもと・まさくに)

元サッカー選手。アテネ五輪サッカー日本代表監督。現在はサッカー解説者。

1958年4月4日生まれ、静岡県沼津市出身。

1977年 日本大学三島高等学校卒業

1977年 日本ユース代表選出第19回アジアユース選手権出場

1979年 日本ユニバシールド代表選出ユニバシールド(メキシコ)大会出場

1980年 日本代表 ワールドカップ(スペイン)アジア地区予選出場

1981年 国士舘大学卒業

1981年 ヤマハ発動機株式会社 サッカー部入部

1982年 日本サッカーリーグ2部 優勝

1983年 第62回 天皇杯全日本サッカー選手権大会 優勝

29歳で現役引退後、指導者として活躍。

1995年 第10回ワールドユース(U-20)選手権 ベスト8 日本五輪代表コーチ 就任

1996年 アトランタオリンピック 出場

1997年 U-19日本代表監督 就任 第11回ワールドユース(U-20)選手権 ベスト8

6月度 AFC 最優秀コーチ賞 受賞

7月 ジュビロ磐田ヘッドコーチ 就任

10月 Jリーグセカンドステージ 優勝

12月 Jリーグサントリーチャンピオンシップ 優勝

1998年 8月 Jリーグヤマザキナビスコカップ 優勝

8月 Jリーグファーストステージ 優勝

10月 日本代表コーチ 就任

1999年 4月 第12回ワールドユース(U-20)選手権 準優勝

11月 シドニーオリンピック 出場権獲得

2000年 6月 キリンカップ 優勝

9月 シドニーオリンピック ベスト8

10月 アジアカップ(レバノン) 優勝

2001年 6月 FIFA コンフェデレーションズカップ 準優勝

7月 キリンカップ 優勝

2002年 6月 FIFA ワールドカップ ベスト16

7月30日 日本代表コーチ兼五輪代表監督就任

2003年 1月1日 五輪代表監督 専任

2004年 8月 アテネ五輪出場

11月1日 ジュビロ磐田(株式会社ヤマハフットボールクラブ) 執行役員兼監督就任

2006年 6月 ジュビロ磐田監督辞任

2007年 現在に至るまで サッカー解説者として活躍中。

2009年 国士舘大学 体育学部客員教授

～サッカーの最前線から学ぶビジネスのヒント～

一流選手と呼ばれる人たちは、多くの失敗や敗戦から学び、成功を目指しあきらめずに努力し続けています。努力というのは誰もができることです。しかしながら、努力し続けるのは、難しいことでもあります。だからこそ、努力する才能が、人生の中で最も大切なことなんだと実感しています。サッカー界の一流選手たちのエピソードを交えながら、選手として、そしてビジネスマンとして飛躍していくためのヒントをお伝えします。

個々の能力が高くても、組織として良い結果を導き出すためには、もう一つ重要な要素があります。それは、個人が集まったときに、互いが力を発揮場があるということです。つまり、チームを一つにまとめ、組織の役割プラスαの個の強みを発揮できる環境を整えることこそが、組織の進化に繋がることになるのです。押しつけられた仕事ではなく、自分の「意志」でやっていく仕事は疲れないということを知っていただきます。

「良い上司であると共に、良き部下でなければならない」。どんな組織も、「人」が大きな力を持ちます。マネジメントで重要な「人のメンタルをつかむ」ことができた組織は、発展し続けていくことができます。そのためには、みんなが役割を全うすることが欠かせません。「役割」というのは、与えられたことをこなすことではありません。周りにいる人材が持っている個々の能力を活かして、個が輝くことができる場を用意してあげる。そうした組織づくりこそが、最大の強みとなります。

石本惣治（いしもと・そうじ）

全日本板金工業組合連合会理事長

社団法人日本建築板金協会会長

株式会社ライムイシモト 代表取締役会長

昭和 22 年 2 月 27 日生れ

昭和 41 年に学校を卒業後、2 年間の建設会社勤務を経て昭和 45 年父の創業した石本板金工業に入社。以来、永きにわたり建築板金業界に身を置いて今日に至る。

20 代後半で実質的な経営を任され、業界が大きく変貌する中、職人の生活安定や製品の品質の安定化などを図ることを目的として職人の社員化や工場の機械化に着手。

その後、事業所の法人化や名称変更を経て平成 9 年、株式会社ライムイシモト代表取締役。同社を九州地区有数の企業に育て上げ、現在は代表取締役会長を務める。

業界組織としては平成 11 年より長崎県板金工業組合理事長、全国団体としては平成 13 年に全日本板金工業組合連合会副理事長、社団法人日本建築板金協会理事に就任。平成 19 年には社団法人日本建築板金協会副会長職に就任する。

平成 23 年 5 月、全日本板金工業組合連合会理事長、社団法人日本建築板金協会会長に就任、同年 7 月には全国板金業国民健康保険組合並びに全国板金業国民年金基金の理事長に就任し、建築板金業界のトップとしての活動に邁進する日々が続いている。

12. 参加者の心得

全板連・日板協青年部あすなる研究会 参加者の心得

全日本板金工業組合連合会 青年部
社団法人日本建築板金協会 青年部

全板連・日板協青年部あすなる研究会に参加する青年部員の基本的な心得を次のとおり定める。

期間中は会場内、宿泊室及びこれらに付随する施設内においては団体の秩序と敬愛をモットーとし、互いに協力し合い、あすなる研究会にふさわしい環境をつくるよう心掛けること。

また服装、言葉づかいなどに注意し、風紀を乱さぬよう十分に留意し、品位を保ち、誇りある建築板金業界の一員として、自覚ある行動をとるようにも心掛けること。

< 注 意 事 項 >

- 1) 研究会のスケジュールを厳守すること
- 2) 施設・備品その他の公共物の破損もしくはこれらの紛失をしないこと
- 3) 煙草は指定された場所で喫煙し、火災の予防に心掛けること
- 4) 暴飲暴食を慎み、十分に休養や睡眠をとること。またアルコール類は良識をもった時間において、他人に迷惑をかけない程度の量に加減すること
- 5) 夜間は必要以上の大声や雑音を避け、他人の迷惑となる行為を慎むこと
- 6) 非常口の位置や避難用具を確認し、緊急の場合の心構えをしておくこと
- 7) あすなる研究会期間中は主催者の指示に従うこと。また不明な点があれば主催者またはホテルに申し出ること
- 8) 各部屋で使用した冷蔵庫、電話等の支払いは各人で精算すること
- 9) 服装は上着・バッチを着用し、正装で参加すること

以上

【平成 23 年 8 月 19 日 (金) 17 時 必着】

< FAX : 03-3456-2781 >

平成 23 年 月 日

第 31 回 全板連・日板協青年部あすなる研究会 in 香川

< 参加申込書 >

組合名 : _____ 板金工業組合

※ いずれかにチェック印をつけてください。

下記の者が参加いたします 全 _____ 名 / 欠席いたします

参加者一覽

役職等	参加者氏名	歳	性別	住所・事業所	喫煙
例) 部長	ばんきん たろう	33	男・女	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 4-5-6 有限会社ばんきん太郎	喫・禁
	板金 太郎				
			男・女	〒	喫・禁
			男・女	〒	喫・禁
			男・女	〒	喫・禁
			男・女	〒	喫・禁
			男・女	〒	喫・禁
			男・女	〒	喫・禁
			男・女	〒	喫・禁
			男・女	〒	喫・禁

◇ 参加費 @24,000 円 × _____ 名 = _____ 円は、指定口座へ
(りそな銀行 麻布支店 (普) 1691886 全日本板金工業組合連合会)
_____ 月 _____ 日に振込みます。※振込期限 : 8 月 19 日 (金)

※喫煙・禁煙に関しましてはご希望に添えない場合もありますのでご了承願います。